


〈テーマ〉課題に対して個からグループや集団に展開することで、学び合いを深める取組

(大和町立大和中学校)

実践例(1) 内角の和のいろいろな求め方

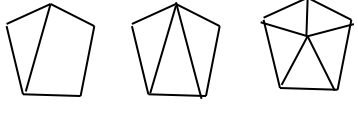
課題
それぞれの多角形で、すべての角の和をいろいろな方法で求めよう

四角形 五角形 六角形 七角形 八角形

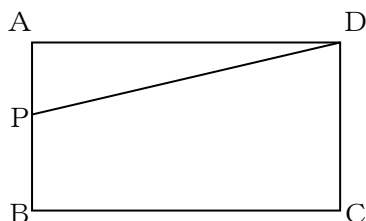


1. 個で内角の和の求め方を考える。その際、いろいろな求め方を考えることが本時の課題であることを伝える。
2. 個で考えた内角の和の求め方をグループで話し合い、他の考え方がないか相談する。
3. 全体で、各班の考え方を発表し、説明が分からない時などに質問する時間をもうける。

生徒から出てきた求め方。



実践例(2) 一次関数の動点問題



$AB = 3 \text{ cm}$, $BC = 4 \text{ cm}$ の長方形 $ABCD$ の边上を点 P は点 $A \rightarrow B \rightarrow C \rightarrow D$ まで移動します。 AP の長さを $x \text{ cm}$, その時にできる $\triangle APD$ の面積を $y \text{ cm}^2$ としたとき、 y と x の関係を式で表しなさい。

1. デジタル教科書で点 P の動きを確認する。
2. 表で点 P が 1 cm ずつ移動するときの $\triangle APD$ の面積を求める。
3. グループになり、 y と x の関係を式で考える。
4. 辺 CD 上の関係はなかなか式で表現できない生徒が多かったので、分かった生徒が全体で発表する。

実践例(3) 三角形の合同

1. 仮定と結論を全体で確認する。※図で仮定は黄色チョーク、結論は赤チョークと区別する。
2. 根拠となることがらを全体で確認する。
3. 個で証明を解く。
4. ペアやグループで証明の仕方を生徒同士で確認し、教え合う。
5. 全体で、答え合わせをする。